

【臨床指標4】成人市中肺炎の重症度別患者数等

～解説～

成人（15歳以上）の肺炎患者さんについて重症度別に患者数、平均在院日数、平均年齢を集計したものです。（市中肺炎とは普段の生活の中で罹患した肺炎を言います。）全国的な傾向として肺炎は罹患率が高い上、死亡率も高く、悪性新生物、心疾患について国民の死亡原因の上位に位置する疾患です。

当院では、中等症の患者さんが多く、超重症になるほど平均在院日数が伸びていることが分かります。また、重症または超重症の平均年齢も80歳以上と高くなっております。

平成26年度 成人市中肺炎の重症度別患者数

重症度	患者数（人）	平均在院日数（日）	平均年齢（歳）
軽症	80	11.5	58.4
中等症	176	13.6	78.4
重症	26	13.0	81.0
超重症	14	25.9	85.5
不明	8	11.0	80.5